

病虫害発生予察情報

3 月月報

平成 25 年 4 月 18 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2013 年 3 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	17.3	5.3	3.2	1.4	10.2	3.5	11.5	41	72.1	133
中旬	18.0	4.4	6.1	2.8	12.1	3.8	16.0	52	77.4	130
下旬	14.3	0.0	6.9	2.4	10.4	1.1	14.0	26	45.8	84
平均	16.5	3.2	5.4	2.2	10.9	2.7				
合計							41.5	37	195.3	116

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・中旬はかなり高く、下旬は高かった。

降 水 量：上旬は平年並、中旬は少なく、下旬はかなり少なかった。

日照時間：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は少なかった。

上旬：移動性高気圧に覆われたことや冬型の気圧配置により、晴れの日が多くなった。なお、1日は日本海の低気圧が発達しながら北東に進んだため、関東地方で「春一番」が吹いた。また、7日から10日にかけて南から暖かい空気が流れ込んだため気温が上昇し、10日の最高気温は25.3となった。これは統計開始以来3月として日最高気温の高い方から第1位で、最も早い夏日となった。

中旬：低気圧や前線の影響であられを伴った雨の日もあったが、移動性高気圧に覆われたため晴れの日が多くなった。また18日～20日は、南から暖かい空気が流れ込んだため気温が上昇し、日平均気温がかなり高くなった。特に、19日の日最低気温は15.5となり、3月として統計開始以来、日最低気温の高い方からの第2位を記録した。

下旬：期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日があったが、その後は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：促成イチゴ、半促成・促成トマトはおおむね順調な生育をしている。トマト、ナス等果菜類の苗の生育はおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウは気温が高く推移したため、生育が早まった。コマツナは一部で抽だいがみられた。キャベツでは定植後の活着が良好で生育も順調であった。アスパラガスは順調に収穫が行われ、収穫始めも早かった。春まきのダイコ

ンについても順調である。

3 病害虫の発生概況

(1) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(2) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

葉かび病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ホウレンソウ（施設，露地トンネル）

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

うどんこ病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大 島：ルスカスでこうじかび病、一部地区のキクでクロゲハナアザミウマの発生が多かった。また、ツバキでスギタニモンキリガによる花の食害が目立った。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。